

異業種7社で新事業

テクノノ松江で設立記念式典

松江市、八雲村に本社を置く自動制御装置メーカー、運送業、コンピュータソフト開発、建設業など業種の異なる企業7社が、技術・経営ノ

ウハウを統合した新しい事業展開を目指して四月に設立した「協同組合テクノくにびき」の設立記念式典が十八日、松江市千鳥町のホテル一畑で開かれた。

小松電機産業、小松電気製作所、八雲自動車、システム工房エム、大島タンポトル、新陽電工、岩田建設の七社。当面、小松電機産業の開発した自動制御シートシャッターと上下水道計装システムの応用化に取り組み。シートシャッターの応用については、国の中小企業融合化組合の認定準備を進めている。また、長期戦略として、

ハイテクと人間らしきの調和をテーマに、各企業の枠を超えた共同事業の展開を目指す。

記念式典には、地元企業の経営者ら約三百人が出席。小



協同組合「テクノくにびき」設立記念式典
であいさつする小松昭夫理事長—松江市千鳥町、ホテル一畑

貢献したい」とあいさつ。続いて、勾玉(まがたま)をアレンジしたシンボルマークと協同組合の統一テーマ「Human・face 人間らしさの追求」が発表された。